

改修前



利用者からは、「トイレが暗い。便器やタンクなど設備が壊れている。においが気になる」といった苦情が出ていた。

エントランス



天井の照明にはLEDを採用し、トップライトから外光も差し込む、明るいエントランス空間。男女トイレと多機能トイレがひと目でわかるように、サインを色分けしている。

男性トイレ 小便器コーナー



子どもから大人まで使いやすく、小便器足元の清掃がしやすい低リップタイプの壁掛小便器を採用。荷物配慮として棚やフックを設けている。

多機能トイレ



使いやすさと同時に、空間として統一感のあるデザインを実現したRESTROOM ITEM 01の多目的トイレバックを採用。オストメイト対応マルチバックや収納式多目的シート、ベビーチェアも完備している。

女性トイレ 大便器ブース



節水性に優れたRESTROOM ITEM 01の壁掛フチなしトルネード大便器を採用。荷物を置く棚やフックを備え、立ち座りが楽にできるように手すりも設置している。

女性トイレ お子様連れ配慮



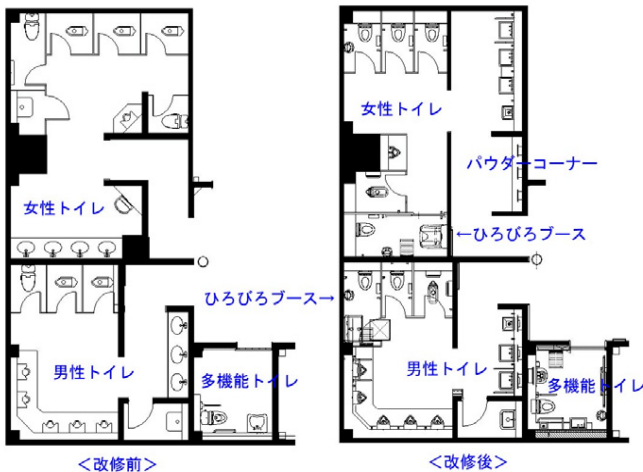
写真左上・下：ベビーカーごと入ることができる、ひろびろブースを1ヶ所設置し、ベビーシートやベビーチェア、フィッティングボードを完備。写真右：トイレの一角に幼児用小便器も備えている。

多機能トイレ



冬場は外気温が氷点下になることが多いため、凍結防止対策として、天井には遠赤外線式ヒーターを設置している。

トイレ図面



洋式便器の割合を増やし、男女トイレともひろびろブースを1ヶ所設置。女性トイレには、パウダーコーナーも新設した。

女性トイレ 洗面コーナー



荷物を置く棚やフックを備えた洗面コーナー。水栓金具は水じまいの良い壁掛式のアクアオートを採用。洗面器の1ヶ所は、お子様が使いやすい高さ(580mm)に設置している。

女性トイレ パウダーコーナー



隣の人の視線が気にならないように個別鏡を採用。お化粧直しがしやすいように、ダウンライトのほか鏡裏にも間接照明を配している。

建築概要

名称	上田駅お城口公衆トイレ
所在地	長野県上田市天神一丁目
施主	上田市
基本設計	上田市都市建設部建築課
実施設計	株式会社エービーシー一級建築士事務所
施工	株式会社有賀技建
竣工年月	(改修)2011年11月

水まわりの特長

<改修の経緯>
上田駅お城口公衆トイレは、市民だけではなく、多くの観光客にも利用されている。完成後14年が経過し、設備の老朽化などから「臭い」「汚い」「暗い」といった苦情が上がるようになり、改修に至った。改修計画のコンセプト立案にあたっては、担当者がTOTOのHPを参考に、最新のトイレ改修現場に足を運び、イメージを具現化していった。その結果、「明るさ(Clear)・清潔(Clean)・快適(Comfortable)・魅力的(Charming)」の4Cをコンセプトとして、上田市の玄関口にふさわしいトイレ空間を目指した。

<トイレの特長>
男女とも洋式便器の割合を増やし、環境に配慮して節水型便器を採用。女性トイレには、お化粧直しに配慮してパウダーコーナーを新設した。また、さまざまな身体状況の利用者を想定して、多機能トイレにはオストメイト対応の汚物流しや、多目的シートを設置している。なお、照明は環境に配慮してLEDを採用し、明るいトイレ空間を実現している。